

name Keiju (中嶋恵樹)
residence 横浜

- 1987 タイへ移住
BKK老舗JAZZクラブ「Brawn Sugar」にてレギュラー出演
- 2001 Grammyを中心に多数アーティストのレコーディングおよびコンサートツアーに同行
レコーディング: [カロワ] [テー] [サマー] [XYZ] [JAE] [チャラット] [カンビー] 他
作曲・アレンジ: [XYZ] [JAE] [T-BONE Band] [アン] [ガチョーンサク] [FORD] などのミリオンセラーアーティストへの
楽曲提供 [ガチョーンサク] アルバム「SA EHUEN LIC KA SIT」では60万枚のセールス
映画音楽: 元タイ国首相チャチャイ・チュンナワン子息、クライサク監督のドキュメンタリー映画音楽プロデュース
イベント: タイ国王即位70周年記念コンサート (日本人代表として出演)
デンマーク皇太子シークレットライブ
- この他、タイ音楽業界にて新人グループやソロアーティストのサポートを含め、350以上のタイトルに参加
- 1997- 「服田洋一郎」ツアー
1999- 「Eurasian Rung」結成
「桑名HALKO」ツアー
「上田正樹」ライブ
「Kaja」デュオ & セッション
- 2000- ドイツ放送局SWR「MODAL TAPESTRY ORCHESTRA」参加
参加ミュージシャン: Ken Zuckerman, Anindo Chatterjee, Madjid Khaladj, Christoph Grund, Benno Trautmann 他
- 2001 徳島県神山町「アーティスト・イン・レジデンス」参加
2002 バンドEurasian Rung アルバム「Eurasian Rung」リリース
ソロアルバム「awa+aqua」リリース

Keiju: Guitar, Bouzouki, Sitar, Suling

メインはギターであるが、バリ島の竹笛スーリン、シタール、琴、ブズーキ、シンセサイザーなど、様々な旅先で出会った楽器を駆使し独特のサウンドを展開。Rock、Jazz、Classic、民族音楽などあらゆるジャンルをMIXしたスタイルは心に響く新しさを感じ取れる。BKKに拠点を置きアジアのミュージックシーンにて作編曲、サウンドプロデュースなどをメインに15年以上活動。ヨーロッパではドイツの放送局SWRが開催する民族音楽とクラシックを融合したコンサートにも毎回参加している。

タイを中心とした参加アルバム数は350タイトルを超え、タイポップスのミリオンセラーアーティストにも楽曲を提供している。最近のタイでの活動として、タイの国民的シンガー「Danuporn Kawekarn (Jae)」との活動を中心にアルバムレコーディングを行っている。国内の活動としては、伝説のブルースバンドBreak Downリーダーの「服田洋一郎」ツアー参加、R&Bシンガー「上田正樹」とのライブをはじめ、沖縄民謡の大御所「照屋政雄」との離島ツアー、関西で人気のレゲエシンガー「Kaja」、歌姫「桑名Halko」やサクソプレイヤー「Chica」等。他にも「Bird」のJ-wave Live 生演奏や、P-model「平沢進」のアルバム参加などギタープレイヤーとして様々なアーティストをサポート。

2001年徳島県神山町で開催される世界中のアーティストを募ったイベント「神山アーティスト in レジデンス」に初の音楽家としても招待され、ソロアルバム「awa+aqua」をリリース。神山にスタジオも設け、今後の日本の活動も活発になりそう。

自身がリーダーとして民族音楽楽器を使った即興演奏バンド「Eurasian Rung」でも定期的なツアーを行い、全国各地でライブを展開中。

子供のときから、何かを作っているときが一番楽しかった。砂場で山や団子を作ったり、毎日絵を書いていた、食べることも忘れて、かなり絵にはまりこんでいた。9歳のときビートルズに心底ショックを受けてギターを始めた。あんなに音楽を聴いて感激した事は、あの時が最高だったのかもしれない。30年近く音楽をやってきて最近やっとあの自由な絵の世界に近づけたと思っている。高校のころまでRockやJazzにはまりアメリカに勉強しに行きたいと思っていたが、大学のとき行ったインドに行き考えが変わってしまった。そこには自由に西洋人も旅行しているけれど、日本やアメリカやヨーロッパで見る彼らの顔より、よっぽど生き生きとしているように見えたからだ。もちろん自分の顔もね、何かとつても当たり前だけ大事なこと気がついた。

あの頃なのか、それともずっと前からなのか Asia にどんどんと惹かれていった。自分なりにいろいろな音楽を吸収してきたけど血でやる音楽にはかなわないと旅をしながらつくづく思った。

1989年バリ島で手に入れた竹の笛(スーリン)を吹いたら、彼らとまったく違う音がした。とっても日本的なんだ、それまで自分の日本人的なところはあまり意識しなかったけど、紛れもない日本の音だった。どういうわけか変な縁で1987年頃より、タイのBKKに住み着いた。ここにくるなりいきなり音楽の仕事にありつく。あれやまあと言っているうちに、スタジオや作編曲の仕事が舞い込んできた。まさかタイに住むつもりはなかったのだが、結果的にアジアでも心豊かなタイに暮らし、10年たつてやっと自分の音楽が出来あがったと思っている。

最近日本にも頻りに戻り、少しずつだけれども、自分の音を紹介できる様になってきた。みんなにも機会があれば是非聞いてもらいたい。最近はいやな事件が本当に目に付いてきた。精神的危機の時代なのか?それとも、ただマスコミがそう言った物をクローズアップしすぎるのか?僕は幸運にも好きなことをして、のんびりしたタイに住めてとても満足しているし、自分の事も少し解かって来たような気がする。今の日本に新興宗教がたくさん出て来て、かなりの人がそれに走っているというけれど、そういうものに飢えるというのも良く分かる気もする。あまりにも心の中にいろんなものが詰め込まれすぎているのだと思う。でも人は宗教?に走って余計に物を詰めているようにも見える。僕は音楽でそういう人達の中に、少しでも空間ができれば嬉しいと思っている。宗教をああだこうだ言う事は出来ない。でもそういった空間を持った時に人の心の中にエネルギーが入ってくる様に思う。それを少しでも手助けできたらうれしいと思っている。

中嶋恵樹 (BKKにて)